

第2回ラグビーワールドカップ2019神戸開催準備委員会
～ 神戸開催成功に向けた委員の皆様からの主なご意見 ～

(荒木副会長) 兵庫県

- ・ラグビーに直接触れることと同時に、県の体育大会などでも、大会を周知することが大切である。兵庫県としても、ぜひ協力していきたい。

(田中副会長) 兵庫県ラグビーフットボール協会

- ・ちびっこラグビーなど底辺の普及活動を引き続き行うとともに、競技の運営経験のあるスタッフとも協力しながら、大会を成功に導きたい。

(玉田副会長)

- ・市の様々なイベントの場等でも大会開催を露出していきたい。

(水上委員) 株式会社神戸製鋼所ラグビー部

- ・昨年度は区を限定して教育委員会から小学校にラグビー教室の案内をしていただいたが、今年は市全域に案内をしながら数を増やして実施していきたい。

(槇山委員) NHK神戸放送局

- ・大会の神戸開催には、市民一体となってラグビーを楽しみ神戸の街が一つになること、神戸を対外的に発信していくこと、の二つの方向性があると思う。
- ・一番大事なことは、行政と地元チーム（神戸製鋼）が連携し、練習や試合を市民の皆様に観る機会を提供する事であると思う。生でラグビーを観ていただき面白さを知っていただいて、発信者になってもらえる仕掛けづくりが必要である。神戸らしいおもてなしと併せて神戸を世界に発信していければと思う。

(入江委員) 神戸新聞社

- ・トップリーグの観客動員に注目している。ラグビーはプロ野球やJリーグと比べると集客の面では苦戦していると思うが、神戸には大きなポテンシャルがあると考えている。
- ・神戸市、ラグビー協会、チームが一体感を持ち、取り組んでいければと思う。
- ・公認キャンプ地は非常に大きな意味を持つと考えており、神戸市だけでなく県を上げて大会を盛り上げていける仕組みづくりに期待したい。
- ・大会時の成功に留まらず、神戸にはラグビーの文化があるので、大会の成功の先に目を向け、レガシーを遺せるように取り組んでいただければと思う。

(置塩委員) 神戸市医師会

- ・医療の面では全面的に協力したい。たくさん訪れると予想される海外の方に対する適切な急病対応がいかにかにできるか、大会本番までに整理していきたい。

(山口委員) 神戸大学大学院

- ・大会への市民の巻き込み、関わり強化、可能な限り大会に関わる人を増やしていくことが大切である。
- ・ラグビーだけではなく、特に他の神戸のトップスポーツとも連携、協働を進め、関わりを増やしていくことが大事だと思う。

(植月委員) 兵庫県体育協会

- ・ラグビーを盛り上げるのはもちろんのこと、健康文化都市兵庫県、神戸市というイメージを確立して、ボランティアを共有すること、また、スポーツボランティアのリーダーを育てることで、全ての他の大会にも関連していけると思う。連携とレガシーを広い意味で総力を挙げて取り組んでいければと思う。

(守屋顧問) 神戸市会

- ・キャンプを神戸の近隣でも行えるようにするなど、兵庫県とも連携した取り組みをしていければと思う。